

平成30年 5月28日

高松市長 大西秀人様

高松市国分寺地区地域審議会
会長 土井信幸



建設計画（合併基本計画）に係る平成31（2019）年度及び2020
年度の実施事業に関する意見の取りまとめ調書の提出について

新緑の候、貴職におかれましてはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本地域審議会につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年4月16日付高地振第1011号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり取りまとめましたので提出いたします。

つきましては、とりまとめ事項の予算化及び事業化について、格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に関する
意見について

地区名：国分寺地区

番号	項目	意見の内容
1	通学路等の歩道整備について	<p>昨年、提案しました県道高松善通寺線と県道綾川国分寺線の交差点改良については、検討されている事と存じますが、その進捗状況についてお示してください。</p> <p>この交差点は、国分寺北部小学校の通学路に指定されており、大勢の学童が横断して歩道・防護柵の無い路側帯を通行しております。交差点での巻き込み事故から学童を守るため、是非とも早めの整備をお願いいたします。</p>
2	本津川の河川改修について	<p>本津川（県管理2級河川）の河川改修は、県当局の御尽力により鬼無町の上流付近まで改修されてきましたが、昨年も2回避難準備情報が発令されました。このような地域は県内でも多くはないと思います。</p> <p>学校橋から下流で今後の改修計画をお示しいただき、1年でも早くこのような状況の解消をしていただきたいと思います。地元として何かお手伝い出来る事がありましたらお示しいただければ協力したいと考えております。</p> <p>また、国分寺町内の暫定改修した護岸の雑木が大きくなっており、洪水時に破堤の原因となると大変ですので対応をお願いします。</p>
3	生活道路について	<p>国分寺町内においては、行き止まりの宅地開発が多く、その区域外道路も4m程度と幅員が狭いため、今後、南海トラフ大規模地震、それに伴う複合災害等が発生した場合、そうした狭い市道では、消火・救助車両の通行が難しいと思われます。このような状況の中、立地適正化計画が策定され、居住誘導区域外においては、住居系開発行為の接道要件を見直す予定であると聞いておりますが、居住誘導区域にも指定された、用途地域内についても同様の接道要件とすることについて、市の考えをお示してください。</p>

4	国分寺中学校第1体育館の長寿命化計画について	<p>学校教育施設は、高松市学校施設長寿命化計画に基づく対応をすると聞いております。</p> <p>国分寺中学校第1体育館は、耐用年数が40年を超えており、地元の多くの方から改築の要望が出ております。</p> <p>また、国分寺中学校は指定緊急避難場所に指定されており、耐震等避難者の安全確保が必要な重要施設です。今後、改築計画があるのか、あるいはリフォーム化することにより長寿命化を図ろうとしているのか、市の考えをお示しくください。</p>
5	J R 端岡駅南側周辺整備事業について	<p>J R 端岡駅南側周辺整備計画については、市が主体となって立案の上で事業を実施するとお聞きしています。現在の進捗状況についてお示しくください。</p> <p>なお、駅南へのアクセス道路の選定に当たっては、車・自転車・小学生・中学生・高校生の実態を調査の上、道路渋滞や交通安全上の問題が発生しないよう、歩道の併設及び適切な幅員・交差点改良について、十分に検討いただくよう要望します。</p>
6	道路幅拡張等について	<p>県道33号線沿いのローソン国分寺店の北から杉山団地から下ってきた十字路までの市道（中筋・奥谷線）及び県道33号線沿いの日新タクシーから北へ約200mほどの区間の市道（端岡駅前・中筋線）は、道路幅が狭く、非常に危険だと感じます。</p> <p>特に杉山団地は、約220世帯もの大きな住宅団地で車輛の往来が多く、道路幅の狭さで非常に危険度が高い中、地域住民が我慢し、耐えている状況にあります。</p> <p>道幅を広げるためには土地の買収・周辺住民の同意など、年月と費用が掛かります。そこで現実的な対応として、水路に蓋をして道幅を広げていただくことを要望します。</p> <p>また、道路の危険個所の改良要望の申出があった場合には、現地を確認のうえ、カーブミラー等を設置するなど早急な対応を要望します。</p>